

札幌西・手稲健康友の会ニュース

ていねやま

発行所：札幌西・手稲健康友の会
 札幌市西区西町北19丁目勤医協西区病院内
 直通666-2877 (FAX兼用)
 発行責任者 坂野 悠紀子
 友の会員数 12,300人 (12月現在)

あけまして
 おめでと
 ございます
 元気で友の会活動を

札幌西・手稲健康友の会
 会長 高際 一男

明けましておめでとございます。良いお年を迎えられたでしょうか。今年のオセチ料理は消費税10%増税で節約した家庭もあったのではないのでしょうか。消費税だけでなく、社会保障の改悪が安倍政権の元で計画されています。医療では75歳以上の一部負担増、介護でも要介護1、2の生活援助サービス外しなど高齢者はお金がないと病院にも通えない、介護も使えないなど、私たちの生活と健康がさらに脅かされようとしています。これから、何が進められようとしているのかを、しっかりと見聞きして学習して声を上げることが大事です。

何よりも健康第一です。友の会では皆様の病気の早期発見にむけて年に一度の健診の呼びかけや、各班での健康相談会などを開き、健康づくりに取り組んでいます。また、ふれ合いの居場所やサークル、ボランティア活動を行っています。元気になるために友の会活動に参加しませんか。



明日に希望の持てる

医療・介護を

札幌西区病院
 統括院長 小市 健一

明けましておめでとうございます。消費増税に加え、「全世代型社会保障」の名のもとに、社会保障の給付減・負担増が全世代に押し付けられるようとしており、受診・利用抑制による健康破壊の進行が懸念されます。あらためて憲法25条の根本から社会保障制度を問い直し、団結を固め、従来の枠を超えた連携と運動で、民医連綱領改定10年にふさわしい明日に希望の持てる医療・介護を築き上げて行きますよ



今年、法人が統合されます

勤医協西在宅総合センター

センター長 齋藤 誠

明けましておめでとうございます。勤医協福祉会です。大規模法人にすることにより運営の効率化と法人の強化を図ります。また、地域の繋がりとサービスを向上させるため、全体を9ブロックの体制で事業を進めていきますので、まずはご報告させていた

従来、勤医協在宅グループは介護福祉事業を三法人で展開してまいりました。通称「札幌東・札幌南・日胆勤医協」です。今年4月この介護福祉法人を一つの法人に統合することにになりました。名称も解りやすく「社会福祉法人

今年も皆様のご協力をお願いします。



今年もよろしく お願い申し上げます

- 勤医協 札幌西区病院
 統括院長 小市 健一
- 北海道勤医協 札幌西社員支部
 支部長 横山 博子
- 勤医協 西区ひだまりクリニック
 院長 原田 利江
- 勤医協 札幌にしく歯科診療所
 所長 西田 徹
- 北海道保健企画 西区ひまわり薬局
 薬局長 新井田 誠
- 勤医協 西在宅総合センター
 センター長 齋藤 誠
- 勤医協 手稲在宅総合センター
 センター長 小林 晃
- 手稲セントラルキッチン
 センター長 松本 貴幸

お知らせ

例年1月に開催されている

新春交流会

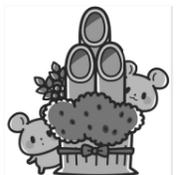
は悪天候やインフルエンザの流行によりたびたび中止になっています。そのため開催時期の変更を検討しています。決まり次第皆様にお知らせいたします。

特定健診はお済ですか？

健診を受けて、今年も元気に過ごしましょう。



年に1度の健診であなたの健康を見直し、病気の早期発見につなげましょう。友の会では健診を受けやすいように、会員のみなさんに補助をしています。



2～3月は混みあいますので、1月中にお受けください。

みんなの居場所に
野露 彩華
(リハビリテーション科)

みんなの食堂「ヤッホー三角山」が昨年五月にオープンし、皆さんに支えられながら毎回楽しく、8回もの開催に至りありがたく感じています。オープン当初は私たちも来てくれる方々も少しよそよそしい様子でしたが、今は私達も参加する方もお互いに顔や名前を覚え賑やかで、温かいアットホーな雰囲気のところになってきたのではないかと感じています。少しずつこの活動が地域に根付き、こどもの居場所としてだけでなく、みんなを結び孤立を社会から無くす、そんな一端を担う場所にしていくと思います。ぜひ、みなさんお越し下さい。

みんなの食堂
「ヤッホー三角山」



野露さん 日光さん

「美味しかったヨ」に
励まされ
日光 純子 (福井班)

「ヤッホー三角山」も回を重ねる毎にどんどん参加者が増え、今では百人以上になっています。私はこの方々への食事の調理を担当し、うれしい悲鳴を上げています。山の手会館が会場ですので設備上作れる料理に限られてしまい、食事は満足とは言えませんが、様々な方々からのサポートが寄せられて、あたたかい雰囲気居場所となっております。何よりも「美味しかったヨ」「来月もまたくるね」の声に励まされています。みんなの知恵と力を集めて、今年も楽しくヤッホーを運営していきたいと思っています。

『ちゅえあ、よりそって』

患者さんとの

会話が楽しみ
大坊 健二
(西野第二班)



げんき号添乗員の大坊さん

います。利用者は主に高齢者です。日常は比較的会話の機会が少ないばかりです。それで、患者さんが乗車されたら行き返りに会話を交わし、寄り添う努力をしています。初対面の方には、先祖の本州での出身地、苗字によってはある程度出身県が分かる場合もあります。そんなことから会話が盛り上がり、私は現役時代の仕事柄、四七都道府県はくまなく廻っていますし、日本地理に異常なまでの興味がありますので、そこから話の糸口になります。これからも患者さんにより、頑張ってまいります。

出合いを大切に
吉田 悦子 (昭和班)



外来ボランティアの吉田さん(右)

ひだまりクリニックがオープンした時から外来ボランティアをさせて頂いています。来院される患者さんに寄り添うように心がけて、笑顔でお迎えし、見守っています。時には患者さんのニーズに合わせて車イスを介助したり、受診の不安や心配が少しでも和らぐよう対話も大切にしていきます。さらに、外来ボランティアは出合いが多いため学びも多くあります。皆が優しい気持ちになれる活動をこれからも楽しんで続けていきたいと思っています。

みんなの頑張りにより元気をもらって
安藤 百合子 (新発寒班)

新発寒たんねの里で「ふまねっと」が始まって三年になります。参加してくれている方は8人ほどです。皆さん杖を使用していて、なかには車椅子の方もいます。自分で「ふまねっと」のステップを踏むことが困難な方が多くインストラクターと世話人がゆっくりのリズムで支えたり声を掛けながら進めています。月1回ですが続いていると足が上がるようになります。「少しづつ出来るようになるのが嬉しい」と皆さん真剣に取り組まれています。



たんねの里「ふまねっと」の安藤さん(左)

日頃のお付き合いを通して
江刈内 智晶 (にしく歯科)



訪問歯科診療の江刈内さん(右)

訪問歯科診療では、加齢や病気等に伴う身体的な理由で通院困難な方を対象に、ご自宅や入所施設、病院などへお伺いし虫歯や歯周病の治療、入れ歯の作成・調整、口腔ケアまで通院治療とほぼ同様の診療を行っています。患者さまの中には、以前は通院していましたが困難となったため、「ご自宅にお伺いし定期検診・歯石取りをしていきます。日頃からの付き合いを大切に、地域の皆様の日常生活に密着し、お口の健康を通していつまでも快適に過ごせるお手伝いをさせていただきます。」と思っています。

今月の行事予定

【友の会室】
ちぎり絵
1月7日(火) 14時
会費300円

絵
手紙
1月31日(金) 13時半
会費月 1200円

綿ぼうしの会
車椅子清掃・布切り
1月23日(木)
布切り
毎週水曜日 13時

囲碁
1月16日(木) 13時

【西区病院3階大会議室】
ふまねっと
1月8日・15日(水)
10時〜 会費1回1000円

フラダンス
1月8日・22日・29日(水)
13時半〜 会費1500円

【新発寒在宅たんねの里】
ふまねっと(入居者のみ)
1月27日(月)

【サロンわたぼうし】
お食事
1月18日(土)
11時〜 参加費500円

※希望者は事前にお知らせください
ふれあい喫茶
1月6日・20日(月)
13時〜16時 コーヒー代1000円

【サロン新発寒ひだまり】
お食事
1月17日(金)
11時〜 参加費500円

友の会電話・FAX
666-2877